

## アンケート回答者数 137 名

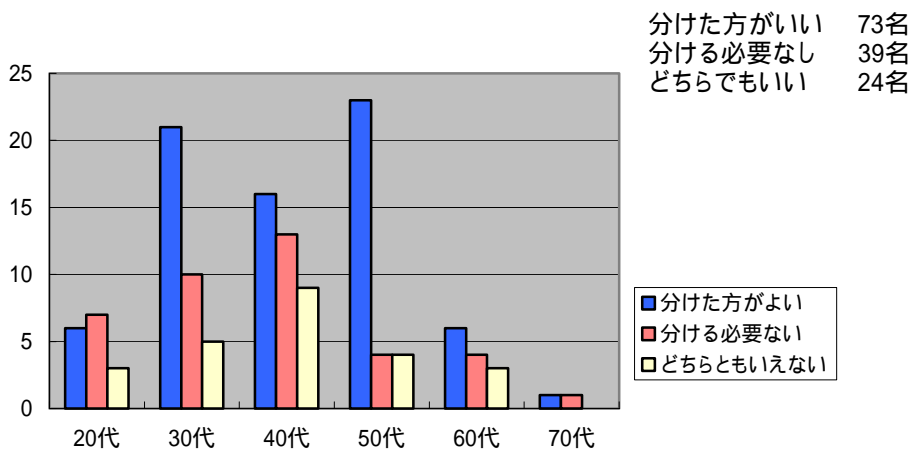
### 年齢

20代	16
30代	36
40代	39
50代	31
60代	13
70代	2
80代	0
合計	137

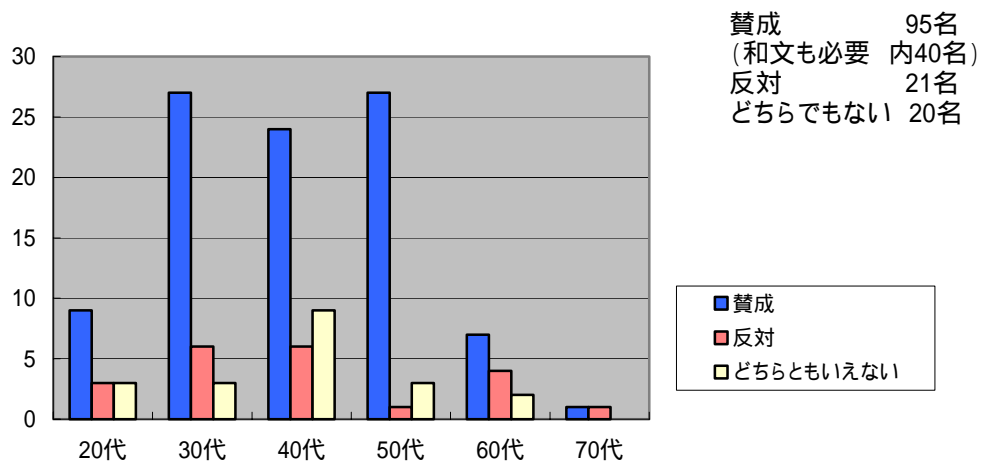
### 所属

教員，研究者（大学・研究所関係）	113
研究者（企業関係）	4
技術者（大学・研究所関係）	4
技術者（企業関係）	2
学生	8
その他	5
無記入	1
合計	137

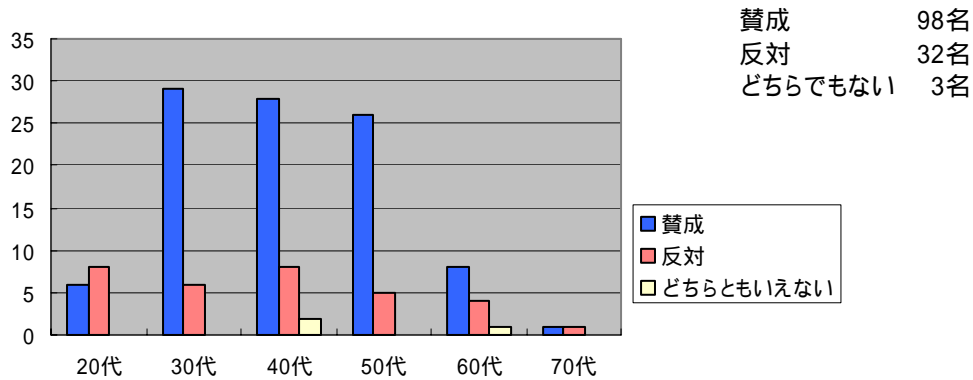
### 和文・英文の混在について



### 原著論文の分離について



## 完全電子ジャーナルについて



### 賛成の理由

- 1位 国際的に参照しやすい (66)
- 2位 低コスト化が可能 (57)
- 3位 掲載までの短縮化がはかれそう (43)
- 4位 時代の趨勢 (21)
- 5位 省力化が可能 (17)
- 6位 投稿しやすい (14)
- 7位 掲載数が増やせる (8)

#### その他

- ・英文ジャーナルにしても ISI がなければ意味がない。
- ・コピーが不要になる
- ・資源が無駄にならない
- ・他の国内雑誌 (JPSJ, JJAP) との差別化
- ・検索が容易
- ・場所をとらない
- ・和文原著誌も同時に実現可能ではありませんか？

### 反対の理由

- 1位 紙の方がみやすい (21)
- 2位 長期の保存に不安 (15)
- 3位 内容がすぐ見られない (11)
- 4位 別刷りが必要 (7)

#### その他

- ・完全電子ジャーナルのほうが事務手続きの手間がかかるのでは？
- ・関係者以外には、認識されにくい。
- ・学会の広報活動に利用できない
- ・論文としての存在感が弱い
- ・PC がインターネットに接続していない
- ・存在感が薄れる
- ・未だに電子化されていない人がいる
- ・少しでも紙に印刷されたものもあったほうがよい

### 著論文の投稿形態

1位	Full Paper	896
2位	RC	777
3位	Letter	752
4位	Review Paper	592
5位	Short Note	464
6位	Letter to the Editor	394
7位	Conference Paper	376
8位	その他	3

### 原著論文の投稿時に重視すること

1位	関連専門分野の研究者がよく見ている	911
2位	国際的に知名度が高い	820
3位	インパクトファクタが高い	667
4位	掲載までの期間が短い	548
5位	世界各国からの投稿がある	341
6位	投稿料が安い	316
7位	掲載論分数が多い	283
8位	掲載されやすい	272
9位	その他	8

・適切なレフェリーが選ばれている

### プラズマ・核融合学会誌が取り扱う分野として必要なもの

磁場閉じ込め核融合 (125)	核融合炉技術 (116)
慣性閉じ込め核融合 (122)	プラズマ応用 (115)
プラズマ基礎 (120)	プラズマ宇宙物理 (106)
核融合炉工学 (119)	ビーム物理, 応用 (92)
その他 (16)	

(核融合装置工学, システム工学, 加速器工学, 電磁場解析技術, ガスエレクトロニクス, チャージ現象, 産業技術, 環境, レーザーシステム技術開発, 放射線・磁場安全研究, ダスト関連, 常温核融合, 高周波源, 光源, プラズマ発生法, プラズマ源, イオン源などハードウェアに関する技術情報)

**分離発行を行った場合の和文誌の毎月発行について**

毎月発行してほしい 36名

毎月の発行でなくてもよい 94名